

■タウンミーティング概要(令和7年10月27日開催)

質問要旨	具体的な内容	市長の発言
松戸市訪問理容出張費助成について	年4回の補助券では少ないのではないか。登録店舗が7店舗しかないので、市で理髪店向けに登録の広報ができないか。理髪店自体が減少しており、成り手不足解消のためにも、子ども向けに職場見学などに協力したい。	補助の拡充は、財源も含めて検討します。まずは理髪店の人に知っていただくことが大事なので、PRすることや補助の拡充が可能か検討します。子どもへのキャリア教育は大事なことだと捉えています。市で実施するしごと体験イベントの中で、実際に地元事業者との連携ができるのか、検討します。
市立小・中学校の施設について	体育館に冷房を入れてほしい。 和式トイレは不要ではないか。	体育館の冷房化は、令和7年度中にすべての小中学校に設置する予定で、順次工事をしています。 洋式トイレへの交換工事は、計画的に実施しています。
防犯対策について	県道180号線を始め、市内には暗い道路が多い。夜でも安心して歩けるようにしてほしい。	ご指摘のとおり、暗い道は防犯上もよくないため、県道については、本市からも県に要望をしています。市道については、街路灯のLED化や、防犯カメラの設置など、防犯対策を進めています。一方、明かりが農作物に影響を及ぼすことや、近隣住民からの眩しいというご意見などから、街路灯を設置できない場所もありますが、今後も可能な限り防犯対策を進めます。
市の魅力のPRについて	市内の魅力はたくさんあるが、PRが足りていないのではないか。近隣市に負けないようにPRしてほしい。	ご指摘のとおり、松戸市の魅力は、たくさんあります。PRに力を入れられるよう体制を整え、松戸のいいものを、もっともっと発信していきたいと思います。
観光による市の魅力の向上について	聖地巡礼につながるようなロケの誘致をして、観光PRをすべきではないか。	ご指摘のとおり、ロケ地やアニメでも松戸のPRになりますので、新たな取り組みを検討しています。
市営駐輪場について	松戸市内の各駅の一時利用できる駐輪場が少ないので増やしてほしい。	人口が増えている駅など市内的一部の駅では、駅周辺の空き地を借りて駐輪場にすることを計画していますが、松戸駅については、駐輪場にできる広さの空き地がない状態です。今後も、一時利用できる駐輪場の整備については、検討を重ねていきます。
松戸市安全で快適な街づくり条例について	取り組みは大変よいが、松戸駅前は、パトロールがいなくなった途端に客引きが増えたり、ポイ捨てごみは、近所の人が拾っている。そういう人の努力がないと、きれいな街が維持できていない状況。持続可能な仕組みにすべき。	ご指摘のとおり、松戸駅周辺では、パトロールがいなくなると客引きがすぐ出てきてしまうと聞いていますので、まずは、パトロールの拡充等効果的な取り組みの検討を進めてまいります。持続可能にするためには、例えばタバコの問題に関して東松戸駅では完全分煙スペースを作っており、拡大していくことも検討しています。
業務のデジタル化に伴う人件費の削減について	DXを進めているということですが、人件費削減を目的としたDX推進は考えていますか。	全くその考えはありません。DXを推進し、業務が効率化できた場合は、例えば残業が減れば職員のワークライフバランスがとれる職場にする。市役所を利用する市民にとっても、待ち時間を少なくして、市も利用者もお互いストレスフリーにするというのがDXの基本だと考えています。
小学校の統廃合について	統廃合の市長の考え方を聞きたい。また、子どもの人数が減少する中で、市内の小学校にも統廃合はあると思うが、中長期プランを早期に公表してほしい。	統廃合というよりは、地域で再編するという考え方をもっています。今、地域によっては、1学年に3~4人という学校もあります。人数が少ないので、2学年ずつで授業をするのも教育現場としてよくないのではないか、また、1学年にクラス替えができるくらいの人数はいた方がいいのではないか、人数配置も含め、検討していきたいです。こうした学校の再編については、「いきなりやります」ということはありません。今、市内の学校は、老朽化のため、改修工事も順に行っています。そういう工事の状況も合わせてみながら再編を含めた方針の検討を行いますので、早い段階でお知らせできるようにします。
ふるさと納税について	市民が他市にふるさと納税することによって、松戸市の減収額はどのくらいか。 市民がふるさと納税をしないことによるメリットがあれば、減収しないと思うのだが、その考えはないか。 また、若い世代の流入のために、市民税の減税をしてはどうか。	ふるさと納税による松戸市への影響ですが、収入が約1.25億円に対して、市民が他市に納税し税控除している額が約20億円です。差し引き18億5,000万円ですが、減収分は国の補填がありますので、数億円の減収となります。ご提案のふるさと納税しないメリットや、市民税減税といった、ある意味逆転の発想については参考にしたいと思います。

■タウンミーティング概要(令和7年10月27日開催)

質問要旨	具体的内容	市長の発言
外国人住民の増加と治安維持について	外国にルーツを持つ市民の増加に対して不安がある。外国人が増えすぎて、夜も歩けない、子どもと一緒に引っ越すという事例も他市ではあるようだが、治安対策は考えているか。	外国人の人の増加に不安な思いをお持ちであることは受け止めなくてはいけないと思っています。規制緩和をして入れやすくする自治体はありますが、松戸市では現在そのようなことは考えておりません。また、松戸市への転入希望者を制限することは、今のルール上できません。外国人にとっては、マナーやごみの出し方など、わからないことが多いと思いますので、日本語学校などに、松戸市から積極的にアプローチして、問題がないようにお願いしています。社会保障や健康保険といった国際的な問題もありますので、現場を知る私たちが国に訴えかけていきたいと思っています。
医療的ケア児について	医療的ケア児を受け入れできる学校が少ないので、総合医療センターと連携して看護師を学校に派遣するなど、学校選択の幅を広げられないか。また、医療的ケア児の家族は介護に時間がとられるため、医療的ケア児の家族が働きやすい環境づくりへの配慮と、国に要望できないか。	総合医療センターと連携した看護師の派遣については、非常に良いご意見として承ります。できることを検討します。また、国に対して、地域からの意見として訴えていきます。
財政状況の公表について	現在、市のホームページに掲載されている健全化判断比率等の概要資料がわかりにくい。市民目線に立ったわかりやすい資料にすべきではないか。	ご指摘のとおり、わかりにくいと思いましたので、今年8月22日に開催した「全員協議会」で提出した資料は、よりわかりやすく作成しました。ホームページで公表しています。私の方針でもありますので、これからもできる限りわかりやすく、財政状況の良い面も悪い面も公表していきます。
市の政策について	市長の最優先課題は何ですか。	総合医療センターの経営再建です。小児や産科、救命救急など公立病院が担う採算面で負担が大きい政策医療と、民間病院が担う医療とに役割分担をするという、地域一体の医療構想のもと、赤字を縮小しながら医療を地域として守るという考え方で再建を進めてまいります。
街づくりについて	松戸市は治安も悪く、商業も他市と比較して魅力がなく、街全体が中途半端ではないか。	街全体が古くなっているために、中途半端だというお声をいただくこともあります。しかし、古くなった今が街のリニューアルのチャンスと捉えています。松戸駅周辺も、一部改修の声もあがってきていますので、リニューアルに取り組んでいきたいと思っています。また、犯罪件数は減少しているにも関わらず、治安の悪いイメージが払拭できないのは、市のPR不足によるものと捉えています。まだまだ改善すべきことはあると思いますので、引き続き、予算を組んで取り組んでまいります。
スポーツによる市の魅力の向上について	那須川天心さんがWBC世界バンダム級王座決定戦で勝利したら、パレードなどをするつもりはあるか。	那須川天心さんには、本市のふるさと応援大使として松戸市を盛り上げていただいております。今年の夏には、「天心祭」を開催していただきました。今回の試合については、パブリックビューイングをやることを検討しています。